



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD

コード番号 9759 URL <http://www.nsd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 社長室長 (氏名) 近藤 潔

TEL 03-3342-1250

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,486	4.3	1,983	46.1	2,050	30.9	1,108	56.6
24年3月期第2四半期	16,771	0.8	1,357	△18.3	1,566	△12.5	708	△28.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 920百万円 (99.1%) 24年3月期第2四半期 462百万円 (△11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	26.44	26.43
24年3月期第2四半期	16.43	16.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,266	39,896	85.7
24年3月期	45,358	39,862	87.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 39,633百万円 24年3月期 39,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	7.5	4,000	18.1	4,100	11.8	2,100	12.5	50.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間において、NSD International, Inc. を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	48,172,160 株	24年3月期	48,172,160 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	6,147,281 株	24年3月期	6,368,561 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	41,945,832 株	24年3月期2Q	43,099,800 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含んでおります。(25年3月期2Q 475,500株、24年3月期 695,700株)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

・四半期決算補足説明資料は、平成24年11月1日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、前半は第1四半期に引き続き生産活動に回復の動きがみられたものの、後半においては、欧州や中国をはじめとする世界景気の減速のおそれが景気に及ぼす影響などにより、先行き不透明感が増加する状況となりました。

情報サービス産業におきましては、ここ数年来の産業界のIT投資の抑制傾向に対して、足許は企業の投資に増加の兆しがみられるなど、環境は回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは積極的な受注活動と新規事業の推進、生産性向上や品質管理の強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高につきましては、主力の情報サービス事業が順調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。また利益につきましては、不採算案件の解消や稼働率の向上、生産性の改善などにより、前年同期比増益となりました。

当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	17,486百万円（前年同期比 4.3%増）
営業利益	1,983百万円（前年同期比46.1%増）
経常利益	2,050百万円（前年同期比30.9%増）
四半期純利益	1,108百万円（前年同期比56.6%増）

セグメント別の業績は、以下のとおりとなりました。

①システムソリューションサービス事業

- ・情報サービス事業（ソフトウェア開発事業とコンピュータ室運営管理事業）につきましては、企業のIT投資が堅調に推移したことにより、売上高は15,992百万円（前年同期比5.2%増）となりました。
- ・ソフトウェアプロダクト事業につきましては、自社製品の販売に注力したものの、売上高は微増の590百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

②人材派遣事業

- ・法改正による影響や、企業の人材派遣に対するニーズの減少などにより、売上高は689百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

③不動産賃貸事業

- ・賃貸物件（元社員寮など）の稼働率が前年より若干低下したことにより、売上高は214百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比908百万円増加し、46,266百万円となりました。内、流動資産は2,125百万円増加の28,509百万円、固定資産は1,217百万円減少の17,757百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が1,594百万円、有価証券が1,001百万円減少したものの、現金及び預金が4,597百万円増加したことなどによるものです。

固定資産減少の主な要因は、投資有価証券が1,358百万円減少したことなどによるものです。

[負債の状況]

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比874百万円増加し、6,370百万円となりました。内、流動負債は760百万円増加の4,635百万円、固定負債は114百万円増加の1,734百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、その他の流動負債が111百万円減少したものの、買掛金が63百万円、未払法人税等が176百万円、賞与引当金が623百万円増加したことなどによるものです。

固定負債増加の主な要因は、長期借入金（従業員持株ESOP信託分）が166百万円減少したものの、退職給付引当金が281百万円増加したことなどによるものです。

[純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比34百万円増加し、39,896百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が配当金支払いにより1,062百万円減少したものの、四半期純利益により1,108百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は、85.7%（前連結会計年度末は87.3%）となりました。

[連結キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、19,715百万円となり、前連結会計年度末比3,097百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、3,880百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,980百万円、売上債権の減少1,594百万円、賞与引当金の増加623百万円などによる資金の増加と、法人税等の支払679百万円、たな卸資産の増加88百万円、その他の流動資産の増加92百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、291百万円となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入1,000百万円、投資有価証券の償還による収入1,000百万円などによる資金の増加と、定期預金の預入による支出1,540百万円、有形固定資産の取得による支出126百万円などによる資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1,054百万円となりました。

これは主に、従業員持株ESOP信託口が所有する自己株式の売却による収入189百万円などによる資金の増加と、配当金の支払1,062百万円、長期借入金（従業員持株ESOP信託分）の返済による支出166百万円などによる資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

足許の業績は企業のIT投資が堅調なことより順調に推移しておりますが、今後の景気に対する不透明感が増加していることより、連結業績予想につきましては変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間において、NSD International, Inc.（米国現地法人）を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率に法人税率の引下げ及び復興特別法人税を加味して計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,697,980	21,295,967
受取手形及び売掛金	7,866,662	6,272,010
有価証券	1,001,340	—
商品及び製品	19,971	106,160
原材料及び貯蔵品	3,603	6,237
その他	812,799	843,721
貸倒引当金	△18,866	△14,798
流動資産合計	26,383,491	28,509,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,930,191	3,910,726
土地	5,031,002	5,030,508
その他（純額）	316,406	303,353
有形固定資産合計	9,277,600	9,244,588
無形固定資産		
その他	225,484	261,378
無形固定資産合計	225,484	261,378
投資その他の資産		
投資有価証券	5,756,025	4,397,999
その他	3,732,656	3,865,179
貸倒引当金	△17,155	△11,601
投資その他の資産合計	9,471,527	8,251,577
固定資産合計	18,974,612	17,757,544
資産合計	45,358,103	46,266,842
負債の部		
流動負債		
買掛金	533,560	597,301
1年内返済予定の長期借入金	332,000	332,000
未払法人税等	651,356	827,465
賞与引当金	531,158	1,154,539
役員賞与引当金	39,300	28,500
株主優待引当金	44,547	87,984
受注損失引当金	23,737	—
その他	1,719,471	1,607,776
流動負債合計	3,875,130	4,635,567
固定負債		
長期借入金	502,000	336,000
退職給付引当金	1,060,696	1,342,181
その他	57,861	56,421
固定負債合計	1,620,558	1,734,602
負債合計	5,495,688	6,370,170

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205,864	7,205,864
資本剰余金	6,892,184	6,892,184
利益剰余金	34,938,710	34,983,930
自己株式	△6,560,339	△6,369,482
株主資本合計	42,476,420	42,712,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△367,376	△558,288
土地再評価差額金	△2,329,768	△2,329,768
為替換算調整勘定	△171,882	△190,661
その他の包括利益累計額合計	△2,869,026	△3,078,717
新株予約権	2,102	3,679
少数株主持分	252,918	259,213
純資産合計	39,862,414	39,896,672
負債純資産合計	45,358,103	46,266,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	16,771,575	17,486,474
売上原価	13,989,859	14,029,582
売上総利益	2,781,716	3,456,891
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	552,845	579,995
賞与引当金繰入額	53,621	61,740
役員賞与引当金繰入額	28,340	28,500
福利厚生費	104,787	142,597
賃借料	161,978	161,636
減価償却費	27,546	37,176
研究開発費	120,865	65,678
株主優待引当金繰入額	39,876	43,437
その他	334,178	352,312
販売費及び一般管理費合計	1,424,038	1,473,073
営業利益	1,357,678	1,983,818
営業外収益		
受取利息	48,713	28,999
受取配当金	65,489	67,066
助成金収入	86,639	—
その他	17,996	37,930
営業外収益合計	218,838	133,995
営業外費用		
支払利息	18	—
支払補償費	—	62,000
その他	9,700	5,582
営業外費用合計	9,718	67,582
経常利益	1,566,798	2,050,231
特別利益		
投資有価証券売却益	9,489	—
その他	709	—
特別利益合計	10,198	—
特別損失		
段階取得に係る差損	44,089	—
投資有価証券売却損	7,000	—
投資有価証券評価損	—	62,685
早期割増退職金等	110,699	—
減損損失	1,371	494
その他	2,505	6,080
特別損失合計	165,665	69,260
税金等調整前四半期純利益	1,411,331	1,980,971
法人税等	690,293	850,423
少数株主損益調整前四半期純利益	721,038	1,130,548
少数株主利益	12,985	21,586
四半期純利益	708,052	1,108,961

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	721,038	1,130,548
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△238,273	△190,912
為替換算調整勘定	△20,284	△18,778
その他の包括利益合計	△258,557	△209,690
四半期包括利益	462,480	920,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,495	899,270
少数株主に係る四半期包括利益	12,985	21,586

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,411,331	1,980,971
減価償却費	174,100	172,989
のれん償却額	5	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,942	△9,622
賞与引当金の増減額 (△は減少)	609,208	623,381
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,960	△10,800
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	77,848	△23,737
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	38,685	43,437
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,232	281,484
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	62,685
段階取得に係る差損益 (△は益)	44,089	—
受取利息及び受取配当金	△114,202	△96,065
支払利息	18	—
売上債権の増減額 (△は増加)	838,791	1,594,652
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△178,068	△88,823
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△216,953	△92,599
その他投資等の増減額 (△は増加)	2,150	△3,120
仕入債務の増減額 (△は減少)	103,150	64,268
未払消費税等の増減額 (△は減少)	165,365	△15,001
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△60,569	△70,280
その他	24,036	28,739
小計	2,919,316	4,442,559
利息及び配当金の受取額	107,503	116,578
利息の支払額	△18	—
法人税等の還付額	99	174
法人税等の支払額	△337,166	△679,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,689,735	3,880,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	△1,540,000
定期預金の払戻による収入	240,000	40,000
有価証券の償還による収入	—	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△64,629	△126,402
有形固定資産の売却による収入	4,650	203
無形固定資産の取得による支出	△61,738	△46,579
投資有価証券の取得による支出	△993,000	—
投資有価証券の売却による収入	1,024,876	—
投資有価証券の償還による収入	—	1,000,000
敷金及び保証金の回収による収入	90,309	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	31,831	—
その他	△2,721	△35,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	229,579	291,667

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△166,000
配当金の支払額	△1,264,538	△1,062,482
自己株式の取得による支出	△980,968	△81
自己株式の売却による収入	217,670	189,678
その他	△798	△15,291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,028,634	△1,054,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,230	△19,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	863,450	3,097,987
現金及び現金同等物の期首残高	15,253,019	16,617,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,116,469	19,715,967

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソ リューションサ ービス事業	人材派遣事 業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,751,202	798,552	221,820	16,771,575	—	16,771,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	172,110	13,578	185,688	△185,688	—
計	15,751,202	970,662	235,399	16,957,264	△185,688	16,771,575
セグメント利益	1,269,332	17,820	70,405	1,357,558	119	1,357,678

(注) 1. セグメント利益の調整額119千円には、セグメント間取引消去195千円、全社費用△75千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソ リューションサ ービス事業	人材派遣事 業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,582,358	689,122	214,994	17,486,474	—	17,486,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,237	202,217	11,262	214,717	△214,717	—
計	16,583,595	891,339	226,256	17,701,191	△214,717	17,486,474
セグメント利益	1,926,434	20,874	53,214	2,000,522	△16,704	1,983,818

(注) 1. セグメント利益の調整額△16,704千円には、セグメント間取引消去195千円、全社費用△16,899千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。